



日野中だより2号

発行：令和4年5月16日(月)

文責：佐世保市立日野中学校

校長 池田 美祐紀

校訓



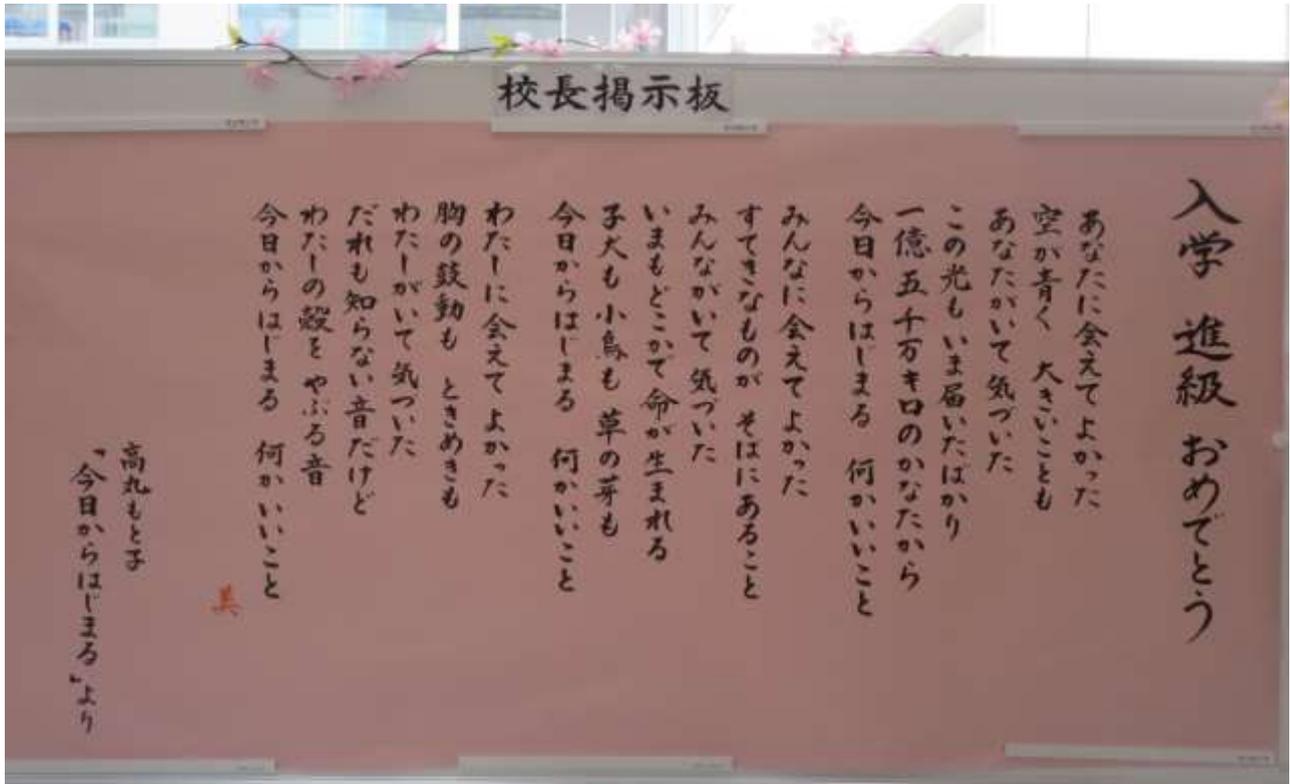
学校教育目標

心豊かで活気に満ちた生徒の育成

学びあい 認めあい 支えあい

☆日野中 HP にカラー版を UP しています。鮮明な画像は、そちらをご覧ください。

4月の校長掲示板 今月の詩：高丸もと子「今日からはじまる」



今年度の決意

4月7日(木)の始業式で、2年生の園田さんと3年生の池田さんの二人が学年を代表して「進級しての決意」を発表してくれました。昨年度の経験や反省を生かして今年度はこれを頑張りたいということを語ってくれた発表から、二人の意気込みがひしひしと伝わってきました。2年生、3年生の活躍を期待しています。

「二年生への決意」

二年 園田 悠

昨年は、コロナ禍で学校行事が思い通りに行かず、不安を抱くことも多い一年でした。しかし、先生方や先輩方(友達)、そして家族の支えがあり、一年間コロナに負けず頑張ってきました。僕達が迷ったり悩んだりした時、先生・先輩方が優しく、丁寧にサポートして下さったため、学校生活を楽しく過ごせたのだと思います。今年から、僕達二年生も先輩という立場になり、一年生をサポートする番です。僕達が入学してから一年間生活して考えたことや学んだことなどを、優しく、時には厳しく教えていき、良い先輩になれるように頑張ります。

そこで、二年生として、充実した学校生活を送るために目標を二つ立てました。一つ目は、時間の無駄を無くすことです。一年生では、学習において計画を立てずに取り組んでいたため、中々成績を上げられなかったため、二年生では



ちゃんと計画を立てて自主学習の時間を増やしたいです。

二つ目は、自律することです。まずは、コロナ禍だからこそその楽しさを見つけたいです。そして、いろいろな事を挑戦し、自立に向けて頑張ります。

みなさんも、この一年間の目標を立てて、有意義な日々の生活を送ってください。



「三年生になって」

三年 池田 葵絵

日野中学校の最高学年となる私たちに求められる事は、「あきらめない心」だと思います。何事にもあきらめずに一生懸命に取り組んでいたら、きっと誰かがその頑張りを見てくれていると思うし、報われると思います。ただ、「よし、今日からあきらめずに頑張るぞ!」と口で言うのはとても簡単な事ですが、実際に頑張ろうとしても中々うまくはいきません。だから、大きな目標を一つ決めて、それを達成するための小さな目標をいくつか立ててみるといいかもしれません。

次に、私の目標について話します。今年度は受験を控えており、大きな選択肢があったり、困難に立ち向かわなければならない時がたくさん出てくると思います。そこで、私に必要なと思う事は、「目標や目的を明確にする」という事です。今までの経験の中で、友達がするから私もするというふうに周りの人にすぐ流されることがありました。また、最終的な目標がはっきりとしていなくて、ただ何となくやり過ごし、次第には途中であきらめるという事もありました。でも、今年度からは「受験生」と呼ばれる事になり、中学校を卒業し、三年間通う学校を決めなければなりません。また、自分で決めた志望校に合格するために、たくさんやらなければいけない事があります。その中の一つとして、勉強を挙げます。

みなさん、一度は両親に「勉強しなさい。」というふうに言われた事があると思います。すんなり勉強に励む人もいると思いますが、大半の人が「勉強嫌だな。」と思うのではないかなと私は思います。ただ、言う側の両親は自分の子供に嫌な思いをさせたくて言っているのではなく、逆に嫌な思いをさせたくなくて言っているのだと思います。勉強をすると知識が身に付き、テストや受験でもいい点数がとれるようになり、ゆくゆくは、自分の将来につながります。自分の将来の夢のために何をすればいいのか、

目標や目的をしっかりと明確にして、これからの一年を有意義なものにしていきたいです。

三年生のみなさん、卒業まで全力で駆け抜けられるよう、中学校生活最後の一年を充実したものにしていきたいと思います。

